

(※) J・A・L・E・R・T(ジェイ・アラート)とは、情報伝達に時間的余裕のない、地震・津波や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報を、人工衛星などを活用して、瞬時に自動的に情報伝達するシステムです。

お知らせ 秋の火災予防運動 始まる

これからの季節は、空気が非常に乾燥し、風の強い日が多いことから火災が発生しやすく、また一旦火災が発生すると急速に延焼拡大し、大規模火災になる危険性が高くなります。毎年この時期に改めて、住民の皆さんに「火の用心」に対する関心をもつていただき、火災予防思想の普及並びに啓発を行うことを目的に、11月9日(日)を「一一九番の日」と定め、11月15日(土)までの一週間、『もうい

いかい 火を消すまでは まだだだよ』の防火標語のもと全国一斉に秋季火災予防運動が実施されます。

仁淀消防署管内では、1月～8月までの間に、建物火災4件、車両火災1件、その他

火災4件と合計9件の火災が発生しています。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

1 3つの習慣・4つの対策

【3つの習慣】

① たばこの不始末は、絶対やめる

毎年たばこは出火原因の上位を占めています。たばこの投げ捨て、消し忘れなどは、絶対に止めましょう。

② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する

寒さとともにストープなどの暖房器具を使い始めますが、使用前には必ず点検整備を行い正しい使い方で使用しましょう。

③ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

天ぷらを揚げる温度は180度、この温度に達する時間は約5分、天ぷら油が自然発火する温度は約360度、その温度に達する時間が約15分、20分。コンロ使用中にその場を離れる場合は必ず火を消してから離れるようにしましょう。

【4つの対策】

① 逃げ遅れを防ぐために、住

宅用火災警報器を設置する

火災予防条例により平成23年6月1日からすべての住宅に設置が義務付けられています。

② 寝具や衣類及びカーテンに防災製品を使用することにより、火災の延焼拡大を防ぐ

③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する

火災を未然に防ぐため、安全暖房器具・調理器具や、燃えにくいカーテンなどの防災用品及び寝具などの防災製品の使用も有効です。

④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

放火を除く、建物火災による死者の大半が高齢者、乳幼児等で占められています。お年寄りや子供たちのような災害弱者は、1階のすぐ戸外に避難できる場所に寝室をとり、整理整頓にも注意しましょう。

■ 問い合わせ

火事・救急は 119番

火災などの問い合わせは

仁淀消防組合消防署

☎893-3800

☎893-3221

募集

お礼

吾北分署

☎867-2812

日高分署

☎0889-2415411

※普通救命講習

受講者随時受付中

(毎月第2日曜日実施)

お知らせ 献血にご協力を お願いします

これからの寒い季節は、献血者が減少し、さらに血液不足が見込まれます。

町内の企業やスーパーなどを献血バスが巡回し、献血へのご協力を呼びかけています。

お近くで献血バスを見かけたら、是非お立ち寄りください。

献血にかかる時間は、受付から採血までで20分程です。

献血バス巡回の日程は、広報裏表紙に記載しています。

皆さんの積極的なご協力をお願いします。

■ 問い合わせ

ほけん福祉課

(すこやかセンター伊野内)

☎893-3811

伊野ライオンズクラブは献血推進活動に20年以上携わり、受付のお手伝いをしたり、献

血者の方へ感謝を込めて、お土産を提供しています。

高齢者人口の増加に伴い輸血に必要な血液が不足しています。献血バスを見かけたら是非献血へ行ってください。

皆さんの善意の献血が、尊い命を救います。

ご協力をよろしくお願いします。

伊野ライオンズクラブ



受付の様子



県内を巡回する献血バス